

# 介護を必要とする高齢者の 充足されていないニーズに関する研究 ～大田市における低所得高齢者を対象として～

ユン ギョンア

講師：尹景兒 氏（大田大学校 社会福祉学科教授）

日時：2023年7月14日（金）18：00～

会場：熊本学園大学 新1号館3階 131教室 ※Zoom同時配信

言語：韓国語（逐次通訳あり）

締切：2023年7月11日（火）**※事前申し込み必要**

※状況により、直前にオンラインのみの開催になる可能性があります。

参加  
無料

## <プロフィール>

1996年2月 延世大学校大学院博士課程修了(社会福祉学専攻)  
1996年3月～現在 大田大学校社会福祉学科 教授  
2017年 大田大学校学生相談センター長  
2021年 大田大学校社会科学大学長  
2022年 大田大学校社会科学研究所長  
2023年3月～ 交換教員として熊本学園大学に所属

## <主な著作>

『大田型介護サービスモデル開発研究』（大田福祉財団 2019年）  
『社会福祉学概論5版』（學志社出版 2022年）  
『大田型地域社会統合介護中長期発展計画研究』（大田社会サービス院 2022年）  
『第5期（2023～2026）大田広域市地域社会保障計画樹立研究』（大田社会サービス院 2022年）  
『現代老人福祉論7版』（學志社出版 2023年）

高齢者の地域社会継続居住(Aging in Place)の必要性と重要性が強調され、大田市でも身体的・精神的な介護を必要としながらも施設への入居を望まない高齢者が、地域社会で調和的な生活を送るうえで必要なサービスを統合的に把握するため研究を始めた。

本発表の内容は、このような研究の一環として進められた調査である。インタビューに参加した高齢者たちは多様な慢性疾患、衰弱、栄養不良、地域ネットワークの欠如、寂しさといった問題を複合的に抱えていることが分かった。そのような様々な問題により複合的な介護欲求を持ちながらも、現在地域社会で過ごし、今後なるべく地域とともに暮らすことを望む高齢者のため、コミュニティケア政策の持続的な開発が必要である。

本研究結果を基に高齢者のコミュニティケアと関連する示唆点を調べた。

【お申し込み方法】 ご氏名、ご所属、携帯番号、メールアドレス、参加方式（対面式もしくはZoom）を明記のうえ [shafuku@kumagaku.ac.jp](mailto:shafuku@kumagaku.ac.jp) までメールにてお申し込みください

<Zoomでの参加者> 参加用URLは、開催前日までにメールにてご連絡いたします  
※「Zoom」の使用方法・操作方法などのテクニカルサポートは行いませんのでご了承ください

問い合わせ先

熊本学園大学付属社会福祉研究所（担当：学術文化課）  
〒862-8680 熊本市中央区大江2-5-1 Email：[shafuku@kumagaku.ac.jp](mailto:shafuku@kumagaku.ac.jp)  
TEL：096-364-8731（直通） / FAX：096-364-5201（専用）  
[月～金曜日] 8：45～17：15（12：30～13：30は除く）